

アースアキュライザーの活用(15)(HP 収載)

—TANNOYⅢLZ—

1. 始めに

前報(12)までのアースアキュライザー導入の効果を TANNOYⅢLZ で確認します。

2. アースアキュライザーEA-1 の試聴計画

アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、**Brooklyn DAC+**と仮想アース **Crystal E** との接続と **DA-3000** と自作仮想アースとの接続へのアースアキュライザーの導入と AV ドーナツの使用などを行っています。音源は前報(14)と同様、下記を使用し、それぞれのアースアキュライザーがどのように効いているかを記載します。**TANNOYⅢLZ** は **PX25** シングルアンプで駆動し、前報(13)の **AXIOM80** と同様、**PX25** の入力の前にある入出力切り替えのパッシブアテネーターの **Ex-Pro SV-1** の空き **RCA** ポートと自作仮想アースの接続に光城精工のアースケーブルを使用しています。

アナログ

**EMI AA 9117・C**

フリードリッヒ・ヘンデル メサイア

オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

\*このアナログ再生は、**LINN LP-12** から再生し、**ZANDEN Model 120** と **Crystal E** との接続および **Brooklyn DAC+**と **Crystal E** との接続にアースアキュライザーが使用されています。

**LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)**

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

\*このアナログ再生は、**Garad401** から再生し、**Leak Pont1** と共有アースポイントおよび共有アースポイントと **Crystal E** との接続にアースアキュライザーが使用されています。

CD

**Evidence EVCD015**

ベートーヴェン チェロソナタ集

フランソワ=フレデリック・ギィ (ピアノ)

グザヴィエ・フィリップ (チェロ)

\*この CD 再生は CD ドライブから読み出し、**fidata HFAS1-S10**→**Brooklyn DAC** 経由で再生し、**Brooklyn DAC+**と **Crystal E** との接続にアースアキュライ

ザーが使用されています。

#### STAGE+

ベートーヴェン ピアノソナタ 30 番 31 番 32 番

マウリツィオ・ポリーニ (ピアノ)

\*この STAGE+再生は PC で再生し、DA-3000 と自作仮想アースとの接続にアースアキュライザーと AV ドーナッツおよび Brooklyn DAC+と Crystal E との接続にアースアキュライザーが使用されています。

#### 3. アースアキュライザーEA-1 の試聴結果

アナログ盤のヘンデルのメサイアは、通奏低音の量感はサイズの的に無理ですが、古いスピーカーながら、合唱の分離も、ソプラノやバスの歌唱も明瞭です。

アナログ盤のワーグナーのワルキューレは、【Garad401→Leak Point 1→PX25 シングル→TANNOYIII LZ】という時代があった組み合わせのシステムですが、TANNOY III LZ の接続にスピーカーアキュライザーを使用し、さらに一連のアースアキュライザーの効果で、予想外にフレッシュで、オーケストラも歌手の歌唱も鮮明で、TANNOYIII LZ のサイズの限界を超えたような迫力を見せています。

CD のベートーヴェンのチェロソナタ集は、古いスピーカーとは思えないほど、チェロの質感やボウイングの様子、ピアノの響きが出ています。

STAGE+のベートーヴェンのピアノソナタは、打鍵も余韻も明瞭で、古いスピーカーとは思えないほど、Fabbrini のスケール感が出ています。

#### 4. まとめ

アースの再構成を実施し、上記のとおり、アースアキュライザーの導入と AV ドーナッツの使用などを行ってきた効果が、TANNOYIII LZ でも認められました。

以上